

パネル展示

東日本大震災が「多様な性の当事者たち」にもたらしたもの

How were those of diverse gender and sexual identities affected on 3.11?

2015年3月14日(土)-17日(火) 9:00-22:00

仙台市市民活動サポートセンター 3階交流サロン

(宮城県仙台市青葉区一番町4-1-3)

入場無料

マイノリティであるために被災地で見えない存在となっていた多様な性の当事者たち(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなど)。被災地で活動している複数の当事者団体と、被災地のアーカイブを作成している「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(運営:せんだいメディアテーク)が協働し、多様な性の当事者たちの震災経験手記を集積・発信するとりくみを行っています。集積した手記を展示し、このとりくみについて紹介します。

関連企画(詳しくは裏面をご覧ください)

トークイベント「多様な人々が互いに尊重しながら暮らしていくには
～多様な性の当事者たちと東日本大震災～」

2015年3月15日(日) 19:00-21:00

仙台市市民活動サポートセンター 3階交流サロン

ゲスト:井上きみどり(漫画家・コラムニスト)

主催:レインボーアーカイブ東北 (E-mail:ochakkonomi@gmail.com Twitter:@rainbowTOHOKU)

協働:3がつ11にちをわすれないためにセンター(せんだいメディアテーク)

協力:青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル/スクランブルエッグ/性と人権ネットワーク ESTO/岩手レインボー・ネットワーク/東北芸術工科大学 LGBT サークル stArt/東北 HIV コミュニケーションズ/Anego/やろっこ/♀×♀お茶っこ飲み会・仙台/てんでん宮城/みどり虹色茶会/SMILE/東北 DE アンビ隊/東北大学セクマイサークル虹色みとこん/東北福祉大学 LGBT サークル BLEND A/ほか

トークイベント

多様な人々が互いに尊重しながら暮らしていくには ～多様な性の当事者たちと東日本大震災～

How can those with diverse backgrounds come to value each other? -3.11 and those with diverse gender and sexual identities-



**Rainbow
Archive
Tohoku**

2015年3月15日(日) 19:00-21:00

仙台市市民活動サポートセンター 3階交流サロン

(宮城県仙台市青葉区一番町4-1-3)

参加無料・予約不要 英語通訳・要約筆記つき

交流の場が少なく、カミングアウトもしづらく、孤立しがちだった東北の多様な性の当事者たち(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなど)。震災により日常が揺さぶられるなかで、さまざまな思いから、いろいろなかたちでつながりをつくる試みが生まれていきました。本企画では、漫画家・コラムニストの井上きみどりさんをゲストにお迎えし、これらのとりくみについてふりかえるとともに、多様な人々が互いに尊重しながら暮らしていくためにはどうすればよいのか考えます。

ゲストプロフィール

井上きみどり Kimidori Inoue

漫画家・コラムニスト。震災復興、放射能、女性と子どもの病気、国際協力をテーマにした漫画、イラストコラムを連載中。仙台在住。「ふくしまノート」「わたしたちの震災物語」「オンナの病気をお話ししましょ。」など。

主催:レインボーアーカイブ東北

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなど、多様な性の当事者たちの生の声を集積・記録・発信する団体です。可視化されていない地方の当事者の存在を広くアピールすることで、違いを認めあい尊重しあう、より生きやすい社会をめざします。

連絡先: ochakkonomi@gmail.com (♀×♀お茶っこ飲み会・仙台)

Twitter: @rainbowTOHOKU

※レインボー(虹)は多様な性のあり方の象徴として世界各地で用いられています。